

令和7年度第2回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和7年12月25日（木）午前10時00分～午前11時00分

2 場 所 新発田市役所5階 会議室会議室501・502

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
渡邊 肅会長	新発田市副市長	
加藤 康弘副会長	新発田商工会議所 事務局長	
渡部 淳委員	新潟交通観光バス(株) 新発田営業所長	
庭山 奈津子委員	新発田市ハイヤー・タクシー協会 会長	
吉田 勤委員	東日本旅客鉄道(株)新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット ユニットリーダー	代理出席：マネージャー 太田委員
渡辺 昭雄委員	NPO法人七葉 理事長	
若狭 寛樹委員	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課長	
江部 俊浩委員	新発田地域振興局 地域整備部長	代理出席：計画調整課 主任 武藤委員
小林 真之委員	新発田市 維持管理課長	
川崎 智行委員	新発田警察署 交通課長	代理出席：交通指導係長 桑原委員
佐藤 武男委員	新発田市自治会連合会	
渡邊 肇委員	川東地区自治連合会	
小池 文廣委員	運行地区代表者	
嶋 肅彦委員	国土交通省 北陸信越運輸局 新潟運輸支局 首席運輸企画専門官	
坪川 孝子委員	新発田地域振興局 企画振興部長	代理出席：地域振興グループ 主査 中原委員
小室 千代子委員	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会 事務局長	

事務局（市民まちづくり支援課）

高澤悟課長、石井広通室長、田中俊介係長、宮下奈々係長、山森一樹主任、新保恭子主事

4 会議概要

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

今年の7月から副市長に就任し、伊藤副市長に代わって本協議会の会長を務めさせていた
だく渡邊毅です。皆様とともに、地域の発展と公共交通の充実に向けて尽力する。よろしく
お願い申し上げる。

令和7年も残すところわずかとなったが、運行事業者の皆様や委員の皆様のご協力、ご理
解とご協力により、安心安全な運行を継続できていることに深く感謝を申し上げる。

これからの中長期は雪や凍結に伴う渋滞で、遅延が発生する可能性が高いため、道路管理者、
運行事業者の皆様と連携を図り、引き続き安定した運行を図っていきたい。

公共交通整備の取り組みについては、今年度5月、6月の新路線運行開始により、地理的
な公共交通の空白地域への対応が一区切りつき、地域への課題解決において大きく前進した。

今後も、常に変化する社会情勢に合わせ、公共交通の更なる利便性等の向上と進化に向け、
引き続き取り組んでいく必要があると考えている。

本日は活発なご議論をお願いするとともに、委員の皆様には、新しい年も変わらぬご支援、
そしてご協力ををお願いして挨拶とさせていただく。

(3) 議 事

○議長

本日の会議について、規約第9条第2項の規定により、過半数以上の委員の皆様から出席いただ
いているため、会議が成立していることをご報告申し上げる。

【第1号議案】新発田市地域公共交通計画の進捗状況について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- 平成29年度に策定した新発田市地域公共交通網形成計画のアップデートを目的として、令和
6年2月に策定した新発田市地域公共交通計画において、令和6年度計画期間が終了し、取り
組みの効果検証および進捗管理についてまとめた。

(資料1について)

- 評価指標①大形線の利用者数・収支率・財政負担額について、全て目標を達成した。
- 評価指標②市街地循環バスの年間利用者数について、目標を達成した。
- 評価指標③市委託路線の年間利用者数について、目標を達成できなかった。
一部地域において高校生の人数が減少したことによる通学需要の低下が要因と考えられる。
- 評価指標④市委託路線の財政負担額について、コミュニティバス路線で目標を達成した一方、
新発田版デマンド方式路線では目標を達成できなかった。
- 一部路線の利用が低調なため、地域の特性に合わせた運行内容の見直しや利用促進に取り組む。
- 評価指標⑤市委託路線の収支率について、目標を達成した。
- 評価指標⑥公共交通空白地域の解消率について、目標を達成した。
- 評価指標⑦数値目標設定の路線数について、目標を達成した。

(資料2について)

- ・全事業数25のうち、計画通り進捗している事業が23、計画よりも遅れている事業が2、未実施は0であり、おおむね計画通り進捗している。
- ・キャッシュレス決済の利便性向上について、計画では令和6年度において見直し検討、令和7年度から次期システムの導入としているが、検討段階であり導入に至っていないため、遅れていることとした。
- ・GTFSデータを活用した情報発信については、まだ整備できていない路線があるため、遅れていることとした。

○委員

事業進捗状況のキャッシュレス決済の利便性向上事業について、計画よりも遅れているという評価だが、今回検証しているのは令和6年度の実績であり、見直し検討をしている段階においては計画通りという評価でよいのではないか。

○事務局

令和7年度の次期システムの導入に向けて予算化できていないため、計画よりも遅れているという評価をした。

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第2号議案】地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

(大形線事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	大形線（新潟ー新発田）
前回の事業評価結果の反映状況	当市のコミュニティバス再編に伴い、地域の利便性を向上させるため停留所の追加及びダイヤの改正を行った。
事業実施の適切性	「A」
目標達成状況	「B」
事業の今後の改善点	コミュニティバスならびに他系統の路線バスやJRとの接続の考慮、また、沿線の通学通勤利用増など、地域公共交通ネットワークの利便性向上のため、運行事業者とダイヤ構築を協議していく。

(次第浜線事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	次第浜線（新発田一次第浜）
前回の事業評価結果の反映状況	聖籠町の活性化協議会にて協議した結果、ダイヤの見直しを行わず、現行のダイヤを継続することとなった。
事業実施の適切性	「A」
目標効果達成状況	「A」
事業の今後の改善点	運行事業者及び聖籠町と連携し利便性を向上させることによって路線沿線地域に住む人々の通勤通学、買い物、通院等の多様で広域的な移動手段として維持を図る。

(あやめバス事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	あやめバス（申請番号1～7、14～17）
前回の事業評価結果の反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の利用を促進するために、市内の中学校3年生に向けて通学での利用促進を目的としたポスター及び時刻表を作成、配布した。 高齢者にとってわかりやすい公共交通を目指し、My時刻表を作成した。 四半期に一度行う動態調査結果を基に、運行内容の検証を行い、現行の運行を維持やダイヤ改正を行うこととした。 利用者の利便性向上のため、現行ルートの一部エリア延伸及び市街地にある交通空白地を中心に運行する新ルートを増設し、通学通勤、買い物、通院等の生活交通として整備した。 キャッシュレス決済システムの導入検討のため、先進地調査を行うなど検討を継続している。
事業実施の適切性	「A」
目標効果達成状況	「A」
事業の今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 高校生や高齢者の利用を促進するために、通学や通院に対応したチラシの作成、配布を継続する。 四半期に一度行う動態調査結果を基に、運行内容を検証する。 中央ルート及び東西ルートを総合的に見直し利用者の利便性の向上を図ることで利用者の増加を目指す。 新たなバスロケーションシステム、キャッシュレス決済システムの導入を検討する。

(川東コミュニティバス事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	川東コミュニティバスの該当路線（申請番号8～13）
前回の事業評価結果の反映状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の通学へのバス利用の促進を図り、高校進学後、通学にバスを利用してもらえるように、中学3年生に無料券付きのチラシを配布した。 ・地域住民と一体となり、運行内容の検証を行い、医療機関敷地への乗入れやお盆期間の運行を実施した。 ・小・中学校の通学に配慮した運行を目指し、一部の地区で通学支援期間の延長や、運行ルートの延長を行った。 ・高校生の利用状況を確認し、実態に合わせた運行を継続した。 ・キャッシュレス決済システムの導入検討のため、先進地調査を行くなど検討を継続している。
事業実施の適切性	「A」
目標効果達成状況	「B」
事業の今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の通学へのバス利用の促進を図り、高校進学後、通学にバスを利用してもらえるように、中学校3年生にチラシを作成し配布する。 ・地域住民と一体となり、運行内容の検証を行う。 ・小・中学校の通学に配慮したダイヤ設定を継続するとともに、安全安心な通学環境を確保するため、運行内容の検証を行う。 ・高校生の利用状況を確認し、実態に合わせた運行を行う。 ・乗換えがスムーズになるよう、乗継地の標識や路線図の見直しを検討する。 ・新たなバスロケーションシステム、キャッシュレス決済システムの導入を検討する。

(バリアフリー化設備等整備事業)

補助対象事業者等	株式会社下越タクシー
事業概要	福祉タクシー導入
前回の事業評価結果の反映状況	老朽化した福祉タクシーを1台入れ替えた。
事業実施の適切性	「A」
目標効果達成状況	「C」
事業の今後の改善点	今後も必要に応じて実施する。

○委員

川東コミュニティバスの目標達成状況について、収支率が前年度を下回ったため目標未達成であり、人件費の高騰や車両修繕費の増加を要因としているが、この要因は令和6年度における特殊要因ともいえるため、単純に前年と比較することは不適当ではないか。

○事務局

本計画は令和6年6月に作成しているもので、前年度にあたる令和5年度の数値を下回らないことを目標にしている。そのため特殊要因も加味した上で目標設定を行っており、未達成という評価とした。

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第3号議案】令和7年度 新発田市地域公共交通活性化協議会 補正予算（案）について
事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・7,173,000円の補正。
- ・歳出については、市街地循環路線の新路線において令和6年11月の市への予算要求時に運行計画が確定しておらず、運行計画確定後の運行費が要求額を上回ったことや音声及び行先表示に係る費用が当初の見込みを上回ったことのほか、当初見込んでいなかった実証運行や令和8年4月からの運行に向けたシステム改修を必要としているため、補正するもの。
- ・歳入については、当初不確定であった県補助金の交付決定を受けたため、補正して歳出に充当することから市からの補助金額は変更しない。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第4号議案】リハビリテーション病院前停留所の移設について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

・背景・目的

病院側から「リハビリテーション病院前」バス停と新発田リハビリテーション病院間に距離があり、病院利用者の利便性向上のため、病院敷地内にバス停を移設してほしいと要望があった。

・変更期日

令和8年4月1日

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【報告1】豊浦地域公共交通（本田・天王号）の第4便ダイヤ変更について

主な説明内容は以下のとおり。

・背景

利用者から高校の授業終了後に乗車できる余裕を持ったダイヤへ見直してほしいと要望があった。

・変更期日

令和8年1月13日

・変更内容

第4便（市街地⇒豊浦地域行き）のダイヤを7分遅く運行

【報告2】五十公野～赤谷地区公共交通実証運行の書面協議結果及び利用状況等について
主な説明内容は以下のとおり。

- ・書面協議について

令和7年10月6日から令和8年3月31日の間、地域の利便性向上のため実証運行を行うもの。結果は、全ての委員が承認。

- ・実証運行の利用状況及び今後の方針について

全体の状況として、9月までの利用者は前年度比-7.4%に対して10月からは-8.8%で若干の減少傾向。今後は利用者が伸びた場合、4月からこの運行内容で本格運行に移行し、現在の状況が続いた場合、地域の検討会議で再度検討した上で、実証運行期間を延長して判断していく。

【報告3】加治川地域公共交通の運行内容見直しの方向性について
主な説明内容は以下のとおり。

- ・利用状況

令和6年度及び7年度を比較し、1日平均の利用者数は6.4人と6.2人であり、少ないままではほぼ変わっておらず、乗合率は26.5%で低調。

- ・今後の方針

2路線を1路線に統合するほか、増便・地域の停留所の増設・目的地の追加を検討中。見直し後の運行開始は令和8年4月を予定。地域の検討会議で協議後、本協議会にて2月上旬に書面協議を予定。

5 その他

○新潟交通観光バス株

新潟駅～月岡温泉間および月岡温泉～新発田駅間を結ぶ直行バスの実証運行について、当社が令和8年1月12日まで運行担当しており、1月13日以降においても運行内容を変更しながら実証運行を延長する旨報告させていただく。また、令和8年6月から道路運送法第4条に基づく路線定期運行へ移行を目指して検討を進めており、路線化が決定した場合、令和8年3月に開催が予定されている本協議会において運行の実施主体となる団体から協議を行う予定になっているため、その際は何卒よろしくお願い申し上げる。

6 閉会

次回：令和8年3月27日（金）10:00～（予定）